

令和 6 年度国際救援・開発協力事業派遣要員
再募集・追加募集要項③
(令和 6 年 4 月 15 日付国企第 71 号通知添付)

1 共通事項

(1) 応募要件 (共通)

原則として以下の要件を満たしていることを前提とする。

- ア 国際救援・開発協力要員基礎研修会 (BTC) 又は国際救援・開発協力要員研修 II (IMPACT) を修了 (または派遣前までに修了を予定) していること。
- イ 危機管理研修 II または安全管理研修 II を修了 (または派遣前までに修了を予定) していること。
- ウ 英語での協議、報告書等の作成及びその他業務の遂行が可能であること。
- エ 派遣に際し、差し障り無い健康状態であること。

(2) その他

- ア 派遣期間の前後には、必要に応じて引継期間等が加えられること。
- イ 現地情勢及び事業進捗等により、派遣募集自体の取り下げ及び派遣期間等が変更となる可能性が随時あること。
- ウ 派遣先での職務詳細等につき質問がある場合は、国際部企画課派遣係 (kokusai-hr@jrc.or.jp) まで個別に照会すること。

2 募集事業

(1) インドネシア防災強化事業

「インドネシア防災強化事業」は、災害多発国であるインドネシアにおいて、令和 2 年 9 月～令和 5 年 12 月までの期間、地域の災害リスク軽減に寄与することを目的に、学校及び村落ベースで災害に対するコミュニティのレジリエンスを強化する取り組みを実施してきた。現行事業は令和 6 年 6 月までに最終評価等の各種報告書を取り纏め終了するとともに、令和 6 年 7 月ないし 8 月より次期事業を開始する予定である。派遣される要員は、日赤の知見を活かして地域防災と学校防災の両面から、地震や津波からの早期避難の仕組みづくり等、災害への備えを強化する取り組みの立ち上げにあたる。次期事業地は未定。なお、現在、現地代表部にはインドネシア人スタッフ 2 名が在籍しており、首席代表 (= 開発協力課長・在本社) の監理の下、事業管理に当たっている。

(参考リンクはこちら：[インドネシア防災強化事業](#))

ア 事業/事務管理要員：複数名

(ア) 派遣期間

令和 6 年 9 月～令和 7 年 3 月

※期間については応相談だが、3～6 ヶ月間の派遣を想定していること。

(イ) 主な職務

- 現地代表部が行う事業管理業務補佐（連盟/姉妹社/本社等との連絡調整及び報告、各種情報収集及び整理、広報（写真・動画撮影/文書編集）等含む）
- 現地代表部が行う事務管理業務補佐（前渡金管理、出張者/訪問者受入を含めたロジ管理、調達管理、会議運営、報告書作成等）
- 派遣国内における日赤既存事業の発展（新規事業策定含む）の可能性の検討及び検証
- その他、現地代表部が指定する業務（会議出席及び出席報告作成等）

※応募者の経験等に応じ、職務内容を見直す場合があること。

※派遣期間を通じて、日赤/現地代表部を代表して業務にあたる機会も付与される場合があること。

(ウ) 応募要件

- 海外派遣経験は問わないこと。（過去に海外派遣経験がある者の応募も可能であること。）
- 総合職、医療職を問わないこと。（事業管理業務に従事する意思がある医療職の応募も可能であること。）
- 現地で経験する業務が未経験の内容であっても、自主的な学びを通じ、積極的に取り組む姿勢を持つ者であること。
- PCM 手法研修（計画・立案コース及びモニタリング・評価コース）を修了（または派遣前までに修了を予定）していることが望ましいこと。

(エ) 応募書類

応募者は以下 3 点の書類を提出すること。

① 「応募様式」

派遣の時期は応募状況等により調整する可能性があることから、幅広く派遣可能期間を記載すること。

② 「英文 CV」（別添フォーマット）

記載内容を本社国際部企画課派遣係における選考時の参考とし、必要に応じて追加での問い合わせ等を行う場合があること。また、英文 CV は事業関係者に共有する場合があること。

③ 「本派遣に期待すること」（別添フォーマット）

記載内容を本社国際部企画課派遣係における選考時の参考とし、必要に応じて追加での問い合わせ等を行う場合があること。また、「本派遣に期待すること」は事業関係者に共有する場合があること。

(2) 国際赤十字・赤新月社連盟事務局

連盟事務局への派遣については、社内選考とは別に連盟による選考プロセスが設けられる場合があること。

ア アジア・大洋州地域事務所（マレーシア）保健要員（トレイニー）：1名

(ア) 派遣期間

令和6年7月～令和7年6月（12か月）

※12か月未満の派遣については応相談。

(イ) 主な職務

保健（Health and Care）部門の一員として、部門担当者の指導のもと、アジア大洋州地域における連盟各事務所及び各姉妹社と協力し、同地域内において、プライマリ・ヘルス・ケアに基づく保健事業及びファーストエイドの提供等に関する各種調整業務を担う。具体的には、連盟及び各姉妹社の保健事業及びファーストエイド等に関する各種取り組みへの技術的な助言や、同地域内の保健指標及び各種施策等の取り纏め、関連する広報物作成やイベント運営補佐等が期待される。（アジア・大洋州地域各国への出張等の可能性も随時あること。）

(ウ) 応募要件

- 海外派遣経験は問わないこと。
- 保健医療に関する知見があり、保健医療サービス（病院等）への従事経験が5年以上あること。
- 基本的な Microsoft office ソフト（Word, Excel, Power Point, Outlook）の扱いに慣れていること。
- 赤十字救急法基礎講習及び救急員養成講習（またはそれに準じる講習）を修了（または派遣前までに修了を予定）していること。
- 赤十字救急法指導員養成講習を修了しているとなお良いこと。
- 保健医療に関連する修士号があるとなお良いこと。
- 国内で災害救護業務に従事した経験があるとなお良いこと。
- PCM 手法研修（計画・立案コース及びモニタリング・評価コース）を修了（または派遣前までに修了を予定）していることが望ましい。

(エ) 応募書類

応募者は以下2点の書類を提出すること。

① 「応募様式」

派遣の時期は応募状況等により調整する可能性があることから、幅広に派遣可能期間を記載すること。

② 「英文 CV」（別添フォーマット）

記載内容を本社国際部企画課派遣係における選考時の参考とし、必要に応じて追加での問い合わせ等を行う場合があること。また、英文 CV は連盟担当者に共有する場合があること。